

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう!》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2012/08/30 集計 +オンライン署名増加分 = **7860,571** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。「脱原発」に賛同する若い人達には、インターネットから簡単に参加出来るオンライン署名を広めましょう。一人また一人と、参加者が増えることを願って!

市民の動きが後押し! 「脱原発法制定全国ネットワーク」が誕生

8月22日。「脱原発」を国の法律として制定する事を目標に、「脱原発法制定全国ネットワーク」が誕生しました。

代表は、作家の大江健三郎さん・瀬戸内寂聴さん・前日本弁護士連合会会長の宇都宮健児さん・河合弘之弁護士・音楽家の坂本龍一さん・福島県南相馬市の桜井勝延市長・茨城県東海村の村上達也村長ら。

遅くとも2025年度までの出来る限り早い時期に全原発の廃止を実現するための【脱原発基本法】の成立を目指しています。各政党や国會議員に働きかけ、超党派による議員立法として今国会中に法案提出。提出が間に合わなかった場合は、総選挙の際に全ての候補者に法案を送り、賛否を問う考えです。

記者会見で河合弁護士は、「官邸前などでの市民運動の盛り上がりが必要ならば、私たちの今回の提案はあり得なかった」と述べ、大江さんは「市民が動けば、脱原発基本法をつくる事ができる。きょうはその出発点です」と期待を込めて語りました。

今や有名になった首相官邸前デモ。「デモで何が変わるのか?」との意見もある中で、やはり、一人ひとりが意思を持って行動することこそが、民主主義の大きな力であることを実感します。【脱原発基本法】の早い時期での成立を祈りつつ、私達はこれからもそれぞれの場所で脱原発を目指して地道に活動を続けましょう!

パブリック・コメントの結果は…?

政府は、この7月2日から8月12日にかけて、「エネルギー政策について国民の意見を募るパブリック・コメント」を実施しました。コメントは全国から約8万9千件寄せられ、専門家グループによる分析の結果、「2030年までに原発割合をゼロにすること」を求める意見が約87%でした。原発の安全性や原発事故の健康被害を不安視する声がほとんどで、自然エネルギーの開発を急ぐべきだとの声も多くありました。これを踏まえ、政府は原発ゼロを望む約9割の国民の声を今後の政策にどう織り込むか、検討に入るとのことです。

【ドキュメンタリー映画】(83分・カラー)

『放射能を浴びたX年後』

1954年、南海のビキニ環礁でアメリカが水爆実験を実施。南海で操業していた多くの日本の遠洋マグロ漁船が多量の放射性降下物(死の灰)を浴び、甚大な影響を受けました。

1985年、高知県の高校生が中心になって地元の被災漁民に聞き取りを開始。8年間に亘ってこの“ビキニ事件”を調査した取材記録映画です。セシウム、もろく砕けた人骨…。そして、辿り着いた機密文書。そこに記された深刻な放射能汚染の実態。これは30年後の私達の姿かもしれません。2012年1月「NNNドキュメント」で放送されたものに新たな映像を加えました。

上映館:「ポレポレ東中野」(JR・東中野駅北口より徒歩約3分)

上映日時:9月15日(土)~10月中旬(未定)

(連日)12:30/14:30/19:00

料金:一般1700円(前売り1300円)、中・高・シニア1000円

問い合わせ先:TEL:03-3371-0088/http://x311.info/

(朝の教室)『脱原発とあたらしい経済』

講師:金子勝さん(経済学者)

9月29日(土)9:00~10:30/会場:クレヨンハウス(地下鉄・半蔵門線「表参道駅」A1出口より徒歩約2分) /参加費:1000円/申し込み予約:TEL

(03-3406-6465)・Mail(josei@crayonhouse.co.jp)

《原発に頼らなくても経済成長は出来る!》

ご協力、ありがとうございます!

東京都町田市で、子育て世代の若いお母さん達が進めている放射能市民測定室設置のための募金運動は、8/30現在、1,453,550円のご協力を頂いています。目標額400万円達成まで、引き続きご支援をお願いします!振込先:【ゆうちょ銀行・普通00180-3-418087・町田放射能市民測定室】問い合わせ先:Tel&FAX 042-721-0810(瀬尾)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。